

# コイノニア



新入生のみなさん、創立130周年を迎えた歴史ある松山学院高等学校にご入学おめでとうございます。そして新2年生、新3年生のみなさんも進級おめでとうございます。喜びのうちに新年度を迎えられたことをまず神さまに感謝します。みなさんと一緒に学校生活を送れること、大変うれしく楽しみにしています。さて、今年度最初の「コイノニア」ということで、まずは年間聖句を発表します！

## 「受けるよりは与える方が幸いである」

使徒言行録20章35節の聖句で、創立者コーネリア・ジャジソン宣教師の愛唱聖句です。創立130周年を迎えて校名が変わりましたが、創立者の思いを忘れないように、みなさんと一緒にこの聖句を大切にしながら過ごしたいと思います。そして4月の月間聖句は…

## 「そして、子どもたちを抱き上げ、手を置いて祝福された。」

というマルコによる福音書10章16節の聖句です。イエス・キリストはどんなに弱く小さな存在であっても私たち1人1人を見捨てずに大切にしてくださるということを伝えている箇所です。私たち1人1人は、まず、存在しているだけで祝福されているのです。

特に新入生のみなさん、不安なままでも、心配な気持ちを抱えたままでも、無理にがんばらなくても大丈夫ですよ！「今」の自分のままで受け入れられる世界がキリスト教です。イエス・キリストは世界にたった1人の「あなた」を祝福してくださっているのですから…。

### コイノニアとは？

新約聖書の原典であるギリシア語で「交わり」、「協力する心」という意味です。またこの単語の形容詞には「喜んで分け与える」という意味もあります。

学校生活の中で、みなさんが豊かに「交わり」、「協力する心」を大切にしながら過ごすことができますように…。そして自分の持っている力を「喜んで分け与える」ことができ、キリスト教の大切な教えである「隣人愛」を実践していくことができますように…。

### 聖書・キリスト教の漢字～これなんて読むの？～

#### #01 「主の僕」

「主の僕」を普通によむと「あるじのぼく」と読んでしまうかもしれませんが、これは「しゅのしもべ」と読みます。「主(しゅ)」とは旧約聖書では神(創造主)を表し、新約聖書ではイエス・キリストを表します。「僕(しもべ)」とは、聖書の中では預言者(旧約聖書)やイエス・キリストの弟子たち(新約聖書)を表しますが、「仕える」という意味もあり、キリスト教会の中では牧師や信徒を指す言葉でもあります。そして広い意味で私たちのことも表しているのですが、みなさん1人1人が松山学院高校で学び、誰かを助ける人(=他者に仕える人)となって社会に貢献できる人へと成長してほしいと願っています。

4月の予定  
月間聖句

「そして、子どもたちを抱き上げ、手を置いて祝福された。」  
(マルコによる福音書10:16)

月間テーマ 「祝福されたスタート」

21日(水) ギデオン聖書贈呈式(1年生)

## 松山学院ものがたり #01 アメリカ×Mission×新島襄×同志社

本校の歴史を辿ると、イギリスからメイフラワー号に乗ってアメリカへ渡ったピューリタンたちにつながります(1620年)。彼らはその信仰に基づいて、伝道・教育・社会事業を展開していきました。ですから、教会を建てた次に作ったのは「学校」だったとも伝えられています。時が過ぎ、そこに1人の日本人がやってきました。後に同志社を設立する「新島襄」です。彼はその地でたくさんのクリスチャンに支えられ、一生懸命に学び、キリスト教の信仰を育て、Mission(アメリカンボード)の準宣教師として日本に帰国しました。1875年、新島襄は仲間と一緒に同志社英学校(後に同志社大学となる)を設立しましたが、彼を支えたのがMission(アメリカンボード)であり、またそこから派遣された多くの宣教師たちでした。Mission(アメリカンボード)と同志社教会(組合教会)は強い絆で結ばれ、日本で伝道・教育・社会事業を進めていったのです。新島襄はアメリカ留学先の一つであったアーモスト大学での経験を活かして宣教師たちと共に、同志社で「リベラルアーツ」を展開してきます。多様な生徒を受け入れ、自由に学べる環境を同志社は大切にしてきました。この「同志社教育」を受けたのが本校の初代校長、西村清雄なのです。

### ☆今月の「喜ぶ人と共に」大賞☆

### イースター・エッグ探し!

昨年度に引き続き、このコーナーでは学校生活の中で見つけた聖句にぴったりなショットを紹介いたします!

4月4日(日)のイースター(イエスの復活を祝う日)に礼拝堂で「イースター・エッグ探し」をしました。キリスト教会ではイースターの朝に「イースター・エッグ」を探す習慣がありますが、「イースター・エッグ」は「いのち」をあらわしています。イースターの朝に復活したイエスとの出会いは、新しい自分の発見でもあります。自分の内に輝く「いのち」を大切にしながら毎日元気にならせますように!



バスケット部のみなさんがチャレンジしました!